

しょうらいのゆめ

将来の夢

future dream

司馬田小学校 4年

杉村 奈保さん



私は人にやさしく、まじめな人になりたいです。それは、両親やおばちゃんに、「大人になったら大変なことがたくさんある。それらを乗り越えるために一番必要なことだよ。」と言われたからです。また、友達からやさしく声をかけられた時とてもうれしく感じたからです。

私は、両親やおばあちゃん、そして友達のおかげで、このようなしょう来のゆめをもてたのだと思います。



ばんどうふ

短歌

特別に夢は持たぬが元旦に焼きいる餅の丸くふくらむ

【評】元旦だからと言って夢を持たないという人は私を含めて多いだろう。しかし、人生を落胆したりはしていない。下旬の餅の膨らみが日常の平凡さを肯定している。庶民的な感情を巧く纏めた。

白菜の重石夫の手借りずして七・五キ口足のふんばる

宝塚歌劇に織りなす踊り子の幻想の美にしばし酔いたり

寒き朝空のけしきの澄み渡りまだ覚めやらぬ静寂なるとき

回り路ほんの少しの日だまりにスイセン咲きて春を告げ

転勤で遠地に暮す次男坊小遣いおいて帰り行きたり

節分も時代変わりて恵方巻吉方向きて皆で頂く

長ぐつをびっこに履きて幼子は積もりし雪にはしゃぎて遊ぶ

日向にてふくら土をもち上げて春は近しと福寿草咲く

トラクター耕す畑に鳥たちが虫をついばみはねて後追う

俳句

雲水の一步一步や春の山

【評】「雲水」とは、行く雲、流れる水の一处にとどまらないことに喩えた言葉で、

師をたずね道を求め諸国を行脚する僧のことです。春の山が明るい。

うとうと時忘れたる春炬燵

【評】炬燵に入るとつい時を忘れます。また一家団欒の場ともなり心が和みます。

繋ぐ手を風が耳うち春来たる

梅三分香り三分やウオーキング

春の鴨舟でめぐりし蔵の街

多忙とて恵みの雪や本を読む

潮風に吹かれて歩き春浅し

庭先に子等の声あり冴返る

満開となりし垣根の紅椿

餌を探す野鳥来てをり春の雪

かまぐらを作りし子等の賑やかに

林 秀峰 選

今井 清 選

短歌・俳句の作品を募集します！

皆さんからの短歌や俳句を広く募集します。投稿されるかたは、住所・氏名・年齢・電話番号を記入し、毎月20日までに届くように各選者宛にお送りください。

選者 短歌 今井 清 〒306-0604 幸田新田435 ☎0297(35)2864
俳句 林 秀峰 〒306-0631 岩 井4633-1 ☎0297(35)1230